



輝け！ OKB516



470名+教職員46名

やりがいと生きがい

校長 山本 邦彦

早いもので、あと3週間ほどで、夏休みが始まります。夏休みは、子供たちの「やってみたい」「知りたい」という好奇心を実践に移し、「充実感」や「達成感」を味わわせることのできる意義ある期間だと考えています。

さて、私が小学校の頃、夏休みになると夢中になっていたことは、クワガタ採取です。ノコギリクワガタやミヤマクワガタ等、友達もっていないクワガタを捕まえ、自慢するのが一つの目的でした。そこで、捕まえるために、朝早く起きて遠くにある秘密の木まで出掛けていました。その木は、川を飛び越え、背丈以上の草をかき分けないといけない場所にありましたが、汗だくになってたどり着いたそこに、黒光りしたクワガタを見つけた時の高揚感は何とも言いがたいものでした。

木に塗る蜜も工夫しました。インターネットが無い時代ですから、どんな蜜を塗ればよいのか検索はできません。情報は昆虫に詳しい叔父から教えてもらうか、図鑑しかありませんでした。それでもそれらを手掛かりにクワガタが好む蜜を作ったり、木に塗る場所を考えたり、とてもワクワクしながら試行錯誤していたことを覚えています。

このクワガタ採取で感じ取った高揚感や期待感、充実感は幼い頃の私にとって、紛れもなく「目的」から「やりがい」や「生きがい」へとつながる気持ちや感覚だったと思うのです。この感覚は大人になった今でも何かに取り組む際の礎になっています。

間もなくやってくる夏休み、子供たちには自分のやりたいこと、挑戦してみたいこと、知りたいことを自分で見付け、とことん夢中になってほしいのです。長続きしないこともあるかもしれませんが、それでも新しいことを見付けて、やり遂げてほしいのです。

「やりたいから実行する活動」こそ「学びに向かう力」であり、そこに生き生きとした喜びが生まれ、「やりがい」や「生きがい」につながる気持ちや感覚が生まれると思っています。ぜひ、この夏休み子供たちの「学びに向かう力」に支援していただきますようよろしくお願いします。

いつでも交通安全、自分の命は自分で守る

6月24日に、5年生が交通安全教室を行いました。大久保校区は、富山南警察署管内の「横断歩行者対策推進」のモデル校に選ばれており、その推進事業の一環として実施されたものです。校区には学校前を始め、交通量が多かったり歩道の幅が狭かったりする道路がたくさんあります。毎朝登校時の様子を見てみると、子供たちが横断歩道に近づく姿を見かけると、ほとんどの車が早めに停車し、渡り切るのを見守ってくれます。運転手さんにお礼をしながら横断歩道を渡る子供の姿も見られ微笑ましく思います。また、登下校時の見守り隊の方々のサポートも、大変感謝いたします。しかしながら、自分の命はやはり自分で守るものです。横断歩道だけでなく狭い歩道や視界がよくない曲がり角等での安全な歩き方や、ヘルメット着用を義務付けられている自転車の安全な乗車の仕方など、自分で状況を判断し考えて行動できるように繰り返し指導してまいります。ご家庭でも、危険箇所や危険な行動の実例を挙げながら、改めて交通安全について話し合っただけであればと思います。